

春夏**秋**冬
榿木館日和

しゅもくかんびより◆第三十四号



文化のみち榿木館

Cultural Path Shumoku Museum

旧井元為三郎邸

発行日:2025年10月15日

発行:文化のみち榿木館

指定管理者:株式会社COSMO CONSULTANT

彩る館

i r o d o r u y a k a t a



文化のみち榿木館は今年で建築100年。
大正末期、輸出陶磁器商の
井元為三郎によって建てられました。
長い年月を重ね、そこに生きた人々の
たいせつな場面が、連なる記憶とともに
歴史となり、やがて新しい文化となる。
その館は、都会のけん騒を忘れさせるよう
静かにたたずみ、この一瞬もたいせつな何かを
今へ伝えているのです。

写真..美しくライトアップされた庭園

『ライトアップdenight(でナイト)』

開催期間 12/19(金)~25(木)

午後5時30分~8時30分まで

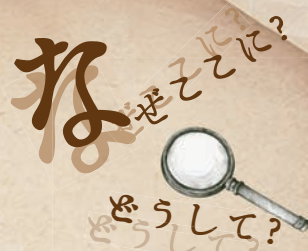
(※最終入館時間..午後8時)

最終入館時間..午後8時

入館料..300円(ホットコーヒーサービス付)



檀木館の不思議



Q1 廊下のベル

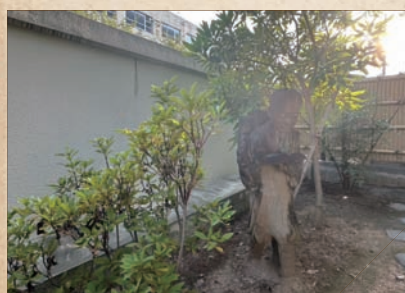
北側廊下の窓上部にあるベルは何のために使うの?



檀木館にまつわる素朴な疑問をまとめました。館内図をたよりに不思議スポットの謎をご覧ください。

Q6 松の木の下 烏帽子(えぼし)岩

松の木の下のふしぎな
かたちの岩?



Q2 いねむり観音

居眠りしているように
見える観音像。

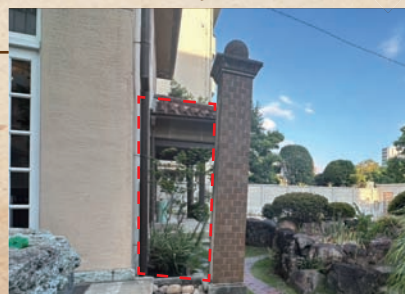


Q5 二宮金次郎像

二宮金次郎像がなぜ檀木館
の庭園に? どうしてこの場所
にあるの?

Q4 スクラッチ タイルの柱

洋館の左側、庭園の入口にそびえ立
つ柱。何かの目印?



Q3 正門の石跡

正門の両側にある石の跡(赤い
四角部分)は何の跡?

こたえ Answer

- 1 上部から配線が出ている形状から電気が流れると音が出る電気式。応答の合図として、ひもをひっぱり音をとめた。外部からの「呼び鈴」として使われていたと思われる。
- 2 いつ置かれたのかは不明。慈悲深く眠っているような姿は、安らぎや心の平穏を表しているかのようです。これからも檀木館をそっと見守り続けてくださるでしょう。
- 3 かつての正門は鏡柱に木製の扉のみの形式であった。車の出入りのために開口部を広げる必要があり、撤去された。地面に残された旧鏡柱の跡から以前の門の幅がわかる。
- 4 スクラッチタイルが貼られた柱。建築当初は洋館の外壁と袖壁(赤い四角枠部分)でつながっていた。壁部分の撤去により柱だけが残された。柱下部には現在も撤去の痕跡が見られる。
- 5 三代目当主・井元啓太氏が、当時PTA会長を務めていた山吹小学校の改装時に受け継ぎ、井元家に移設されたといわれている。
- 6 平安貴族のかぶる烏帽子(えぼし)のようなかたち。松の木の下にたたずむ忠犬? にも見えます。実は石ではなく、モルタル塗りの置物。

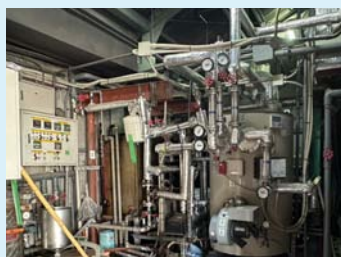
文化のみち探訪 平田温泉

榎木館の門をでて、榎木筋を東へ徒歩9分「ゆ」と書かれたどこか懐かしさを感じるネオンの看板が目印。国道沿いに立つ「平田温泉」。創業大正四年「東雲湯（このめゆ）」として開業し、昭和二十

六年現在の場所へ移転。残暑厳しい九月の夕方、筆者は手ぶらでふらつと汗を流しに訪れた。看板の下スペースに数台ほど止まっている自転車。地域に愛されているのがそれだけでわかる。入り口の戸を開けるとフロントのおかみさんと目があう。笑顔で「こんにちは」と返してくれた。手ぶらでふらつと来た筆者は財布しか持参していない。120円の白いタオルがあれば充分だと説明を聞き料金を支払い、水色の暖簾のれんをくぐる。

ロッカーに着替えを入れ、いざ浴室へ。白を基調とした室内に天井の四角い明かり取りから日差しが差し込む。壁には差し色の一列に並んだ黄色のタイル、富士山の浮世絵。奥には植物園のように緑の空間が広がる。白湯に薬湯、電気風呂、ジェット、ゆつくりと堪能。そして地下80mから湧き出る掛け流しの水風呂でしめる。湯上がりにしっとりとしている自分の肌に口角が上がる。

聞くところによると、入浴料のみで荷物をロッカーに預けウエアに着替えてランニングに出かけられるという「ランナーズ銭湯」加盟店。ジョギングを嗜（たしな）んで五年の筆者、次回はウエア持参で走りにこよう。至極の時間を過ごせそうだ。



写真右：どこか懐かしさを感じるネオンの看板が目印。写真中央：広々とした浴槽。奥には緑が。写真右：ボイラー室。汲み上げられた地下水を沸かす。やわらかいお湯が特徴で湯上りはしっとり。

平田温泉 (定休日 火曜日)
営業時間 15:00～22:00 (最終受付 21:30)
住所 愛知県名古屋市中区相生町38
電話 052・931・4009

令和7年度催し暦 (7月～8月)



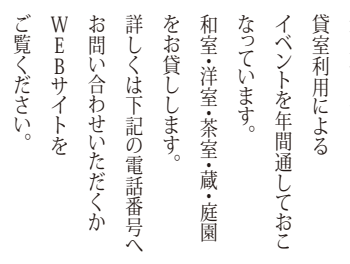
8/21
「女将の部屋怪談 de Night」



8/1～8/7
榎木館コスプレWEEK シュモコス



7/16～7/27
建業100周年記念イベント
レゴランドジャパン×文化のみち榎木館



文化のみち榎木館では、当館主催イベントをはじめ、貸室利用によるイベントを年間通しておこなっています。
和室・洋室・茶室・蔵・庭園をお貸しします。
詳しくは下記の電話番号へお問い合わせいただくかWEBサイトをご覧ください。



8/9～8/17
過去と未来のおもちゃ展



7/20
開館記念コンサート

TEL:052-939-2850 (文化のみち榎木館)

Information

オリジナルステッカーの販売はじまりました

Tシャツやクリアファイルのほかに新たにオリジナルステッカーが仲間入り!

人気イベント! 榎木館館長・香川絢子の「女将の部屋」より、『恐怖の女将』（イラスト：安楽 雅志）、100年前に榎木館を建てた、陶磁器貿易商・井元為三郎の座右の銘であった『幸福は我が心にあり』の千社札風ステッカー。各種200円。受付で販売中です!

